

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 稲城第一小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒206-0802
東京都稲城市東長沼 956
 E-mail : inagile@educet.plala.or.jp
 Website : academic1.plala.or.jp/ine1e/
 児童生徒数：男子 294 名 女子 287 名 合計 581 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

本校では、第5学年の総合的な学習の時間において、東京農工大学の指導と協力を受け「森林プログラム」というプログラムを計画し、年間を通して授業を実施した。

・プログラム名「森林プログラム」

・プログラムの概要

木を中心テーマとして、木について知る活動や、木の光合成による炭素固定を調べることで、木は地球環境にとって大切な役割があることを理解する。また、学校や地域の木について調べ、地域の人たちにその大切さや役割を発信することで、地域環境に興味を持ち、地域の自然を守ることの大切さや困難さ、自分たちでもできることがあることなどを知り、自然と人間の共存について考える。

・プログラムの目標

①木について学んだり調べたりすることから、自然の素晴らしさや自然の大切さに気付く。

②木の炭素固定量を調べることで、木は地球温暖化防止に大切な役割があることを理解する。

③学校や地域の木を調べることで、積極的に地域の自然を守り・育ててはいけないという意識を持ち、そのために必要な思考力・判断力等を育む。

③学校や地域の木について地域に発信することで、「自分のことから行っていこう」とする意欲を育てる。

・プログラムの指導計画の概要

時	学習課題	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等 〔教材・必要物〕 【育まれる「ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度」】
1 ・ 2 時 間 目	木を感じる ゲームをし よう	○木からできているものクイズを行う。 ○木と草の違いは何か考える。 ○森の中での活動を行う。 ・カモフラージュのゲームをする。	・木からできているもの・できていないものをたくさん並べ、木からできているかどうかを当てさせる。 〔木からできているもの・いないもの10～20個〕 ・木と草の違いをきっかけに、森林を構成する木についての理解を深める。 ・木の近くにいろいろな人工物を隠しておき、それを見つけさせる。グループ対抗戦にしてもよい。 〔自然に溶け込む人工物20個くらい〕

		<ul style="list-style-type: none"> ・目隠しをして木に触れ、木を感じ取るゲームをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目隠しをするときは、二人組以上にして、ゆっくり歩き転ばないように注意するように指導する <p>[目隠し]</p> <p>【伝達】【関連】※1</p>
3 ・ 4 ・ 5 時間目	光合成を調べてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ○木の仕組みを知り、光合成について学び、光合成に必要なもの・できるものを理解する。 ・植物の葉の日光が当たったところだけにでんぷんができることを実験で確かめる。 ・みんなで木のそれぞれの部分になり、一本の木を表現する。 <p>○学校にある木を決め、木の一年間の炭素の固定量を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胸高直径を測る ・木の種類を調べる <p>○地球環境と木の役割について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・木は、樹皮・師部・形成層・辺材・心材・根・葉でできていてそれぞれには役割があることを知らせる。 ・光合成は、光のエネルギーにより、水と二酸化炭素から養分と酸素を作り出すことを理解させる。 <p>[アルミホイル・シャーレ・よう素液]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の部分（樹皮・師部・形成層・辺材・心材・根・葉）の役割を考えながら、表現させる <p>[役割カード]※2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の1年間の炭素固定量は、胸高直径と樹種から算出させる。※3 <p>[ワークシート・図鑑]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化に二酸化炭素が影響していることを知らせ、そこから地球温暖化と木の役割について考えさせる。【協力】【関連】
6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 時間目	地域の木を調べてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ○学校や地域の木について調べる視点を出し合い、自分たちで調べたい課題を発見する。 ○グループごとに自分たちで木の課題について調べる。 <p>○調べたことをパソコンのスライドショーで発表する準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や学校の環境改善へのメッセージを入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えられる視点 <p>「校庭の樹木マップを作る。」「学校の樹木の炭素固定量調べ」「地域で一番太い木の炭素固定量調べ」など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までに習ったことを活かしたり、新たな視点で調べることに挑戦したりさせる。 ・スライドショー作成用にグループに一台デジタルカメラを持たせて調べさせる。[バインダー・デジタルカメラ・パソコン・地図など] <p>【協力】【参加】</p>
10 ・ 11 時間目	木の大切さを知らせよう	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の人を招いて、スライドショー発表会を行い、学校や地域の木の大切さを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人たちからの感想や意見も話してもらい、地域の今後を考えるようにする。 <p>[パソコン・スクリーンなど]【伝達】</p>

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）